

メガソーラー稼働

沖電、名護市で実証試験



沖縄電力が運転を開始した本島初の大規模太陽光発電設備「安部メガソーラー実証研究設備」＝名護市安部（同社提供）

沖縄電力は2日、名護市安部で建設を進めてきた太陽光発電設備「安部メガソーラー実証研究設備」の運転を開始したと発表した。低炭素社会の実現へ向けた取り組みの一環で、県の沖縄スマートエネルギーアイランド基盤構築事業を活用。今後は同設備を大量導入した場合の既存系統への影響などについて、データ

を蓄積し分析していく。発電出力は本島初の1メガワットで年間発電量は105万キロワット時程度を想定、300世帯ほどの電力を賄えるという。二酸化炭素削減量は年間1千万トを見込んでいる。実証試験は2014年3月までの予定。

沖電は「これまでは宮古島をはじめ、多良間島や与那国島など小規模系統への

連結における課題を中心に検証してきた。今回の本島での研究開始により、太陽光発電設備の将来の大量導入に向けた実証がより進んでいくと思う」と意義を強調した。太陽光パネルの総数は8748枚で、温度上昇への対応に特徴がある2種類を導入した。11年2月に解散した連結子会社の方又チャココミュニケーションが確保していた事業用地を活用する形で今回、メガソーラー設備を建設した。

(2012年4月3日 5面)

☆このソーラー発電で、何世帯分の電気がつくれるのかな？

☆みんながやっている身近なエコについて、話し合ってみよう！

年 組 名前